

# 日常を丁寧生きる人に幸運は訪れる

リーダーとして「運氣が高い」ことは非常に重要だと思っています。松下幸之助氏も「運が良さそうな人」を採用していた話は有名です。「自衛隊では新しい上官の着任式の日に晴れると士気が上がる。それくらい運に注目している」というお話も聞いたことがあります。今回は幸運を引き寄せるために、私が意識している習慣を紹介したいと思います。



**私** は運が良いと自負しています。経営者になって20年、大きな事故にも遭わず、大病も患わずに過ごしています。創業10年で9割が倒産すると言う人もいる中で、20周年を迎えることができたのも、幸運だからこそだと思います。

特にコロナ禍のピンチを乗り越えることができたのは、いくつもの幸運が重なったからです。まずは先行きに不安を感じていた人材派遣事業を2019年に撤退しました。もしコロナ禍に弊社の規模で人材派遣事業を続けていたら、相当苦しい状況になっていた可能性が高かったのです。

行きつけの居酒屋の店長の紹介で除菌ジェルメーカーの方と繋がれたこと、お付き合いのある中国のメーカーさんが大量のマスクを確保してください、下落した売上を補えたことも外せない要因です。厳しい経営状況を救ってくれました。この2つがなかったら現状は全く違っていたと思います。2020年に東京八王子ビートルインズのオーナー企業になったことも運が良かったと思います。全国でも有数のバスケット

ボールの街である八王子市のプロチームは、持ちたくても簡単に持つことはできません。最大の幸運は人に恵まれたことだと思います。これは2008年に「くにまもり」を掲げ「若者のリーダー教育を通して社会問題を解決する」と日常から言い続けた結果、共感してくださった素晴らしい方々に出会えたからです。

**幸** 運に恵まれるために、諸先輩方のご指導を参考に私が意識していることは、日常を丁寧生きることです。まず毎朝、靖國神社と会社の神棚にお参りして人の及ばない偉大な力（サムシンググレート）を信じ、感謝の気持ちをお伝えしています。

健康に関しては、毎朝30分程度のウォーキングと縄文ストレッチは欠かせません。春夏秋冬を肌で感じ、風の音や鳥のさえずりを聞くとパワーが宿り、気分良く仕事に向かうことができます。

身の回りの整理整頓や物を大切に扱うことも意識しています。運が悪い人は水回りが汚いと教わったので、自宅の洗面台は常に掃除し、自分が使うものは綺麗に並べています。ビジネスバックは1週間ごとにローテーションして中身を全て入れ替えるので、その都度整理しています。茶道を始めから物を丁寧に扱うようになり、文房具も壊れにくくなりました。

自分の名前を丁寧に書くのは、運を引き寄せる基本中の基本です。名前が運氣を与える影響は大きいと、丸山静香先生から習いました。運が悪いと思っている人は名前を雑に書いているのではないのでしょうか。

どんな人も毎日が派手なことばかりではなく、むしろ地味なことの方が多いと思います。そんな日常の一つひとつを丁寧に生きることで、メンタルやフィジカルが整います。そこに能力や公精神といった人間力が加わったときに奇跡が起こると思います。

これが今までの人生で感じたことであり、先輩方から学んだことです。これから未来を切り拓いていく若い皆さんも、まずは日常を丁寧に生きることから始めてはいかがでしょうか。

(株)キャリアコンサルティング 代表取締役社長 室舘 勲  
MURODATE Isao

2003年株式会社キャリアコンサルティングを設立。ブータン王国立マネジメント大学など講演実績多数。全国社内木鶏経営者会 副会長。ミス・ワールド・ジャパン講師・審査員。著書に「夢を見て 夢を叶えて 夢になる」(致知出版社)、「まずは上司を勝たせない」(講談社)、「応援される人」になりなさい」(ワック)がある。